

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画の策定について

令和3年3月
鶴岡市市民部コミュニティ推進課

目次

計画の基本的な考え方	P1, 2
地域コミュニティの状況 (第1期の取組の評価)	P3, 4
計画の体系	P5, 6
目指す5年後の方向性 (計画の推進/連携イメージ図)	P7
参考 (計画の策定方法)	P8

計画の基本的な考え方①

計画の策定にあたって

●計画策定の趣旨

本市では、平成25年3月に「鶴岡市地域コミュニティ基本方針」、平成28年3月に「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」を策定し、地域コミュニティの維持・活性化に向けた取組を進め、コミュニティ活動の充実を図ってきました。

しかしながら、人口減少や少子高齢化、価値観の多様化、帰属意識の低下等地域を取り巻く状況の変化はさらに進み、地域課題も多様化・複雑化してきています。

今後、持続可能な地域社会を構築する上で、地域コミュニティはますます重要な機能を担うことが予想されることから、その維持・活性化は極めて重要な課題であるといえます。

このような状況を踏まえ、令和2年度末をもって終了する「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」を検証するとともに、現状と課題を分析・整理して、引き続き地域コミュニティの活性化を計画的に推進していくため、「第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画」を策定するものです。

●計画期間

本計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

●計画の策定方法

- ①アンケート調査の実施：住民主体によるまちづくり活動の現状を評価・検証するとともに、今後のまちづくりのあり方や方向性を探りました。
- ②意見交換会の実施：広域コミュニティや単位自治組織の役員等を対象にヒアリング等を実施し、地域の目標や新たな課題を情報収集しました。
- ③鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会の開催：計画の策定にあたり、住民自治組織の代表者や関係団体、学識経験者等からなる「鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会」を開催し、計画の内容について協議しました。

第1期計画の具体的取組状況（地域ビジョン）

現在、8地区で地域ビジョンを策定しており（三瀬、加茂、藤島、手向、宝谷、朝日東部、越沢、福栄）、いずれの地域でも、住民アンケート調査やワークショップを重ね、多くの住民の声を反映して策定しています。策定後、地域はビジョンの実現に向けて、引き続き検討を重ねながら事業に取り組んでいくこととなります。

このほか、アドバイザー職員の派遣等を活用しながら、10地区が地域ビジョン策定に向けた検討を始めており、住民主体による地域づくりが益々進むことが期待されます。

地域コミュニティをめぐる現状

●単位自治組織の世帯数規模

30世帯以下で構成される小規模な単位自治組織は、全市で3割を超えています。平成27年度と令和2年度の組織数はほぼ同じである一方、人口は減少していることから、各組織の構成人数も減少傾向にあることがうかがえます。

世帯数規模	H27		R2	
	組織数	割合(%)	組織数	割合(%)
0~10	22	4.7	23	5.0
11~30	127	27.3	135	29.2
31~50	96	20.6	96	20.7
51~100	105	22.6	99	21.4
101~200	66	14.2	61	13.2
201~	49	10.5	49	10.6
合計	465	100.0	463	100.0

●単位自治組織の加入率

単位自治組織への加入世帯割合は減少傾向にあるものの、平成28年度以降は改善傾向が見られます。

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
世帯数	47,491	47,724	48,186	48,184	48,293	48,452	48,486	48,569	48,718	48,927
加入世帯	41,994	42,009	41,878	41,403	41,393	41,345	41,260	41,161	41,060	40,999
加入率	88.4%	88.0%	86.9%	85.9%	85.7%	85.3%	85.1%	84.7%	84.3%	83.8%

計画の基本的な考え方②

第2次鶴岡市総合計画（平成31年3月策定）

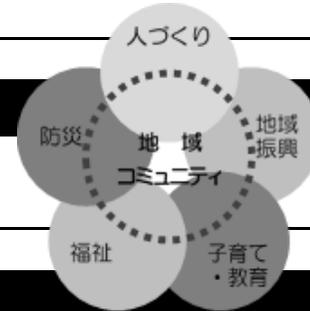
総合計画推進のための取組の方向性を示す

めざす都市像 ほんとうの豊かさを追求する みんなが暮らしやすい 創造と伝統のまち 鶴岡
 基本計画 1 暮らしと防災 …環境を保全し、一人ひとりが尊重され、心が通い合い、お互いを見守り支え合う、安全で安心して暮らせる地域コミュニティを構築します
 (1) 助け合い、支え合う地域コミュニティづくりの推進
 ア 住民主体の地域づくりの推進
 イ 住民自治組織の強化と地域活動の担い手の確保
 <施策の成果指標> 地域ビジョン策定件数 4件（H30年度）⇒ 20件（R10年度）

鶴岡市地域コミュニティ基本方針（平成25年3月策定）

基本方針の推進

持続可能な地域社会を構築するうえで重要な役割を担う地域コミュニティの維持・活性化に向けた、市民、地域、行政の共通指針。



鶴岡市地域コミュニティ推進計画（平成28年3月策定）

鶴岡市地域コミュニティ基本方針を推進するために、各地域の現状に合わせ、その特性や事業に配慮した地域コミュニティに係る取組を定めたもの。

<目指す5年後の方向性・令和2年度>

地域特性を活かした住民主体による持続可能な地域づくりを進め、住民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、さらに心豊かな暮らしを築く

<計画の柱>

- ①心の通い合う持続可能な住民自治組織づくり
- ②住民の安全・安心な暮らしの確保
- ③住民主体による地域課題解決力の向上
- ④地域の特性を活かした魅力の維持・再発見

<構成>

- 地域課題…地域毎に単位・広域組織で課題と主な取組例を設定
- 市施策…市の地域コミュニティ施策と主な取組例を設定

地域ビジョン策定を推進

基本方針の継承

（令和2年1月30日 地域コミュニティ活性化推進委員会で協議）

目指す姿・計画の柱の継続

（令和2年8月7日 同委員会で協議）

【第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画（令和3年3月策定）】

次の5年間（令和3年度～令和7年度）の地域コミュニティに係る取組を定める。

策定方法：アンケート調査の実施、意見交換会の実施、地域コミュニティ活性化推進委員会の開催

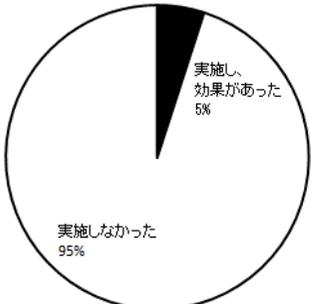
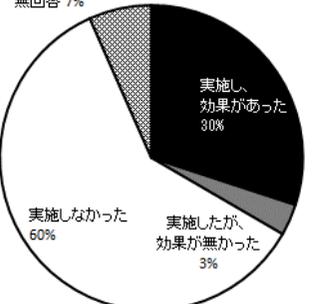
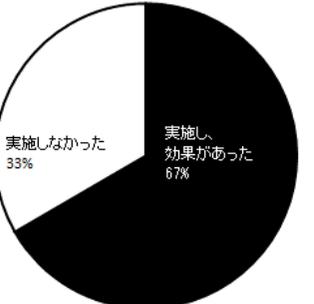
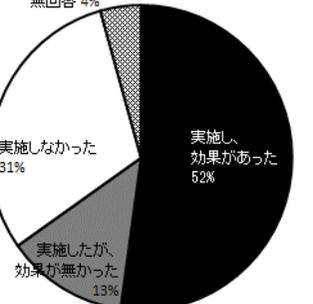
地域コミュニティの状況 (第1期の取組の評価) ① 第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画 概要

鶴岡地域 (単位課題7つ)	鶴岡地域 (広域課題5つ)	藤島地域 (単位課題5つ)	藤島地域 (広域課題4つ)	羽黒地域 (単位課題4つ)	羽黒地域 (広域課題5つ)
<p>課題③ 持続可能な組織づくり</p> <p>無回答 4% 実施し、効果があった 36% 実施しなかった 40% 実施したが、効果がなかった 20%</p> <p>▽町内会長の任期を定めた。当事者意識が増し、活動に対する理解が深まった。 ▽隣組数と役員体制の見直しを行い、体制強化を図った。 ▽隣組内の困りごとを有償ボランティアの取組で助け合っている。『手伝って』と伝わりやすく、互いの顔が見えて、構えない関係になってきた。 ・課題把握はできて、人的体制が弱く、改善に向けた実効的な取組が難しい。</p> <p>・隣組内有償ボランティア実施 ・女性町内会長4人</p>	<p>課題① 地域課題解決型運営の強化等</p> <p>実施し、効果があった 37% 実施しなかった 58% 実施したが、効果がなかった 5%</p> <p>▽学区内の組織(コミュニティ協議会、社協、町内会連合会)を統合し、事業の迅速化、会議削減、コスト改善ができた。 ▽地域住民がワークショップや話し合いを重ね、地域課題を共有し、次につながる一歩となった。 ・発信力が不足している。紙媒体を残しつつ、SNSで若い世代にアプローチしていく必要がある。 ・子ども対象の事業を行っても、スポ少などで参加が見込めない。地域と子どもが接する機会が減少している。</p> <p>・SNS活用による情報共有 ・まち歩きイベントの実施</p>	<p>課題① 各世代の住民ニーズにあった活動に再構築</p> <p>不満 2% やや不満 15% 満足 20% やや満足 63%</p> <p>▽お互いに仲良く助け合う精神を大事に各事業に取り組んでいる。 ▽伝統芸能を若者子供たち含めて継承に力を入れ地域づくりに貢献している。 ・いろいろな企画を考え実施しているが、子供たちの学校事業やクラブ活動等の日程が重なり等で、なかなか参加していただけない。</p> <p>・高齢者宅の間口除雪・配食サービス</p>	<p>課題④ 福祉と防災で新たな役割を確立</p> <p>やや不満 60% やや満足 40%</p> <p>▽除雪作業が困難な高齢者世帯等を市の除雪車が稼働した日に除雪支援する除雪ボランティア隊を立ち上げ活動している。 ▽防災面で、各町内会には自主防災会が組織化されているが、地区全体での連携は構築されていない事から、体制づくりを進めたい。 ・高齢者の生活ニーズが多様すぎ、ボランティアの芽も育たない。</p> <p>・小学生夏休み宿題塾の開催 ・地区単位での防災訓練</p>	<p>課題② 役員等の負担軽減と担い手の育成</p> <p>実施し、効果があった 29% 実施しなかった 67% 実施したが、効果がなかった 4%</p> <p>▽区長は当て職も含めると多くの重責を抱えるのでその下に区長代理制度を設けて区長の負担軽減を図った。 ▽自治振興会へ参加する事により集落自体の活動は減ったが広い活動が増え充実感があった。 ・社会的な現役世代は、仕事や子どものスポ少で忙しく、集落・自治会活動の連帯・協力の意識も低い傾向にあるため、参加者も減少している。</p> <p>・自主防災組織連絡網の作成 ・地域の危険箇所点検</p>	<p>課題② 単位自治組織との連携と役割分担及び人材育成</p> <p>実施したが、効果がなかった 25% 実施し、効果があった 75%</p> <p>▽地域ビジョン策定のためワークショップを複数回開催して地域の老若男女に参加してもらい、まちづくりプランを策定した。 ・自治振興会、区長会、その他の団体等、人口減少しているのに団体数は減る傾向になく、それぞれの団体の役職の掛け持ちや慢性的な役職の成り手不足に悩まされる。</p> <p>・Zoomを活用し、会議や多世代交流事業を開催</p>

地域コミュニティの状況

(第1期の取組の評価) ②

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画 概要

榎弓地域 (単位課題4つ)	朝日地域 (単位課題5つ)	朝日地域 (広域課題4つ)	温海地域 (単位課題7つ)	市のコミュニティ施策	
<p>課題① 広域コミュニティ組織のあり方の検討</p>  <p>実施し、効果があった 5%</p> <p>実施しなかった 95%</p> <p>▽ H28の検討では、組織は中学校区でひとつ、設置時期の具体的な目標年度は設定しなかったとなったが、これらも踏まえて、これから議論していくのは良いと思う。</p> <p>▽ 隣の地域と事業をやっている、その先に広域があるといいのではと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自治会組織内でのつながりが強く、広域コミュニティ組織の意識が低い。 組織が大きくなればなるほど心が通いにくくなる。 	<p>課題② 持続可能で魅力的な事業づくり</p>  <p>無回答 7%</p> <p>実施し、効果があった 30%</p> <p>実施しなかった 60%</p> <p>実施したが、効果がなかった 3%</p> <p>▽ キノコ栽培により、収入や生きがいを見つけた。</p> <p>▽ 以前役員は男性だけだったが、女性に役員になってもらうことで事業への参加が増えた。</p> <p>▽ 資源回収時に全戸を回ることで、子供達が誰がどこに住んでいるかわかり安心につながる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が多く次世代の担い手が少ない。 自治会事業への若者の参加が少ない。 共同作業については既に影響が出ている。 	<p>課題① 住民理解促進と単位自治組織へのサポート体制の構築</p>  <p>実施し、効果があった 67%</p> <p>実施しなかった 33%</p> <p>▽ コミセン主催で防災研修会を実施した。</p> <p>▽ 指定管理の1期で運営方法はほぼ確立した。</p> <p>▽ 各種事業を担当制にして負担軽減に努めた。</p> <p>▽ いろいろなことに取組んできた結果、5年前の状況は維持していると感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会長が毎年変わるため、コミセンに対する理解の引き継ぎが出来ていないと感じる。 次世代の人材確保が難しい。 女性と若者の役員のなり手が少ない。 	<p>課題① 人材活用と役員等負担軽減の取組</p>  <p>無回答 4%</p> <p>実施し、効果があった 52%</p> <p>実施しなかった 31%</p> <p>実施したが、効果がなかった 13%</p> <p>▽ 人口の減少に伴い役職員の見直しを行った。</p> <p>▽ 活動が困難となった団体は廃止することにより負担の軽減につながった。</p> <p>▽ 若い人が入ることによって新しい意見が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進み役員の確保が困難。 青壮年の方々に役員をお願いしても、同じ人しか受けていただけない。 住民を広く登用しているが人口が少ないため一定の限界がある。 	<p>●地域ビジョン策定済</p> <p>H28 藤島、朝日東部 H29 宝谷、越尺 R01 三瀬、加茂、手向、福栄</p> <p>●策定取組開始</p> <p>第2学区、黄金、湯田川、由良、東栄、長沼、渡前、泉、羽黒第4、宮名</p> <p>・コミュニティ支援員やアドバイザー職員、有識者を招聘するなどして、ワークショップ開催や取組への助言等の支援を行った。</p> <p>▽ 多くの住民の参画により、地域の課題や価値、方向性を共有するプロセスを得ることで、我が事としての地域づくりが進められた。</p> <p>▽ 新たな担い手の発掘や関係人口の創出などにつながった。</p>	<p>●鶴岡地域まちづくり未来事業補助金</p> <p>R01 4地区・R02 8地区</p> <p>・広域コミュニティ組織への支援として、「鶴岡地域まちづくり未来事業補助金」を令和元年度より実施し、住民が主体となって行う未来を見据えたまちづくり活動を支援した。</p> <p>▽ 地域ビジョン策定と同様な効果があった。</p> <p>●住民自治組織の運営支援 (令和元年度大幅見直し)</p> <p>○住民自治組織総合交付金 (単位)</p> <ul style="list-style-type: none"> 衛生業務加算、自主防災組織育成事業加算、敬老会補助金を発展的に統合し、地域づくり加算を創設。 <p>○地域づくり交付金 (広域)</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員人件費を増額。 活動費の制限等緩和。 <p>(共通) 事務手続きを簡素化。</p> <p>▽ 交付金の増額。</p> <p>▽ 自由度の高い運用が可能になった。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 地元企業と災害時支援協定 集落内独自商品券の発行 	<ul style="list-style-type: none"> 各公民館でのサロンの開催 ごみゼロ運動 (愛郷運動) 	<ul style="list-style-type: none"> 朝日全域のアンケート調査 チームWagesho 立ち上げ 	<ul style="list-style-type: none"> 宮名未来づくり委員会による地区ビジョンづくり 		

計画の体系①

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画 概要

<p>目指す5年後の方向性(令和7年度)</p> <p>地域特性を活かした住民主体による持続可能な地域づくりを進め、住民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、さらに心豊かな暮らしを築く</p>	<p>計画の柱</p> <p>I 心が通い合う持続可能な住民自治組織づくり II 住民の安全・安心な暮らしの確保 III 住民主体による地域課題解決力の向上 IV 地域特性を活かした魅力の維持・再発見</p>
---	---

取組テーマ	鶴岡地域 互いに支え合い、安心して暮らせる地域コミュニティの推進	藤島地域 子どもから高齢者まで、仲良く住みよい藤島づくり	羽黒地域 つめる ささえあう、ひろがる、未来に笑顔をつなぐコミュニティの推進	楯弓地域 住民自治組織の活性化で安全・安心な地域づくり	朝日地域 地域の活力を掘り起し、住み続けられる地域を創り出す	温海地域 自然豊かに安心して暮らし続けられるコミュニティづくり
単位自治組織の課題	①将来を見据えた持続可能な組織づくり ②活動の担い手となる人材の確保と育成 ③情報発信と会員確保 ④地域課題の解決に向けた取組の実施 ⑤災害に備えたコミュニティづくり ⑥「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり	①各世代が参加しやすい活動に再構築 ②将来を見据えた持続可能な組織づくり ③広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直し ④広域コミュニティ組織と一体となった安全・安心な体制づくり ⑤地域福祉を近隣の輪で支える体制を再構築 ⑥「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり	①将来を見据えた持続可能な組織づくり ②多様な人材の活用と役員等の負担軽減 ③多世代が交流し、あいさつを交わし合える地域づくり ④お互いを見守り支え合う安全で安心な地域づくり	①広域コミュニティ組織の検討 ②住民自治組織等の理解促進と事業の見直し ③次代を担う人材育成と後継者対策 ④安全・安心な地域の構築	①将来を見据えた持続可能な組織づくり ②住民による魅力的な事業づくり ③安全安心な地域づくりのための組織づくり ④単位自治組織の財産管理や環境整備事業の見直し ⑤希薄化した連帯感の再構築	①健全な財政運営に向けた検討や組織の見直しによる役員等の負担軽減 ②将来を見据えた単位自治組織の検討 ③安全で安心して暮らせる防犯・防災対策の推進 ④次代を担う若者や子どもたちを取り巻く環境づくり ⑤高齢者等福祉の視点に立ったコミュニティづくり ⑥広域コミュニティ組織の検討

【第二期計画における重点課題と取組例】

- 人材確保と育成** (子育て世代、若者、女性、現役世代等がこれまでの経験や得意分野を活かし、活躍の場を拡大)
- 持続可能な組織づくり** (組織体制の見直し、事業内容の見直し、情報発信の工夫、SNSの活用など地域住民を惹きつける情報発信と事業企画・運営、広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直し)
- 福祉・防災のまちづくり** (顔の見える関係性の構築、見守り・支え合い体制の仕組みづくり、有償ボランティアの導入、空き家情報の把握と市への情報提供)

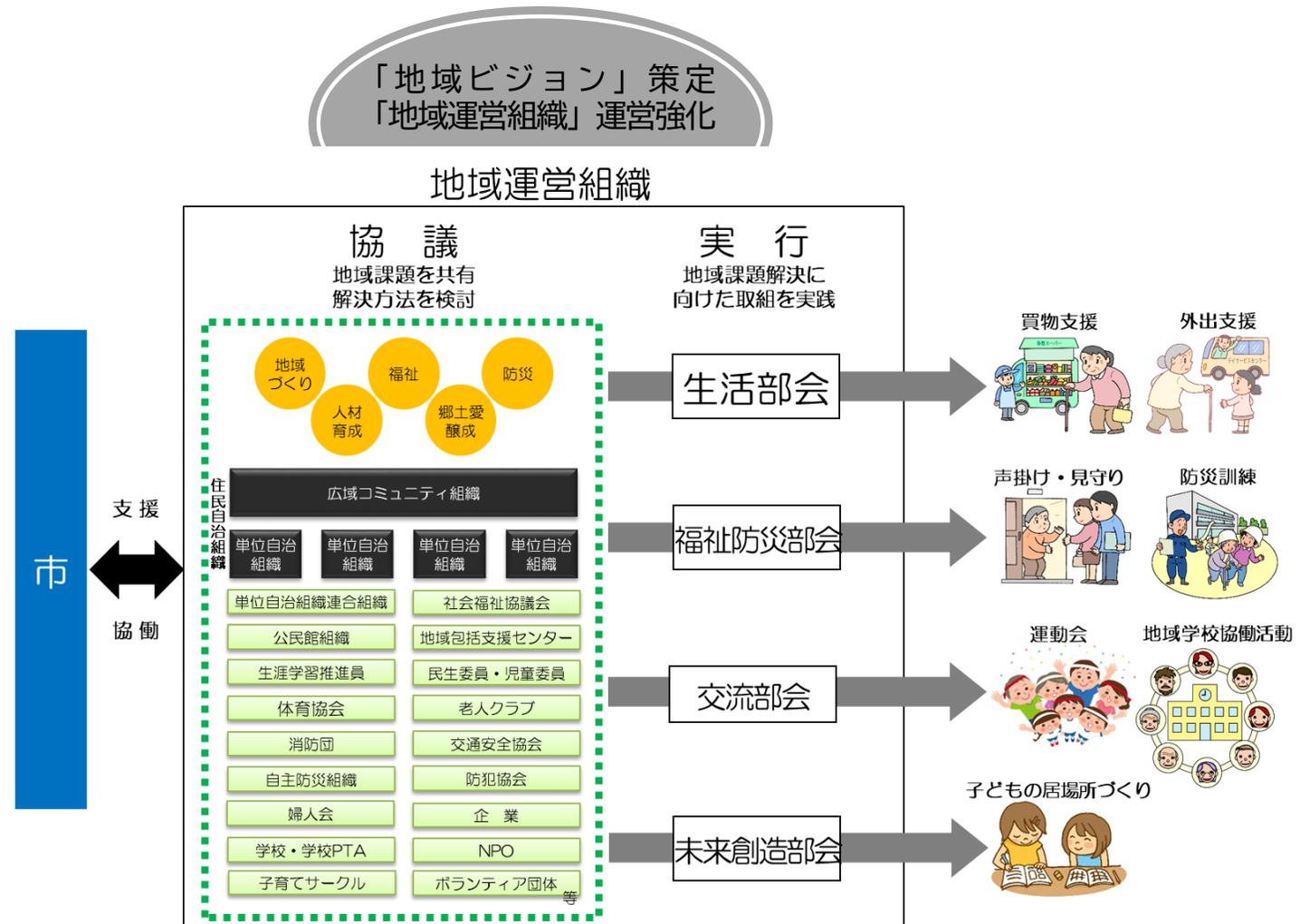
計画の体系②

第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画 概要

	鶴岡地域	藤島地域	羽黒地域	楯引地域	朝日地域	温海地域
広域コミュニティ組織の課題	①時代に調和する運営や事業展開と持続可能な組織づくり ②「地域ビジョン」策定など地域課題解決に向けた取組の強化 ③コミュニティ防災のまちづくり ④単位自治組織の機能補完 ⑤地域資源を活かしたコミュニティビジネスの検討 ⑥「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり	①地区自治振興会を核とした活動の推進 ②持続可能な運営方法の確立 ③地区内外の団体との連携強化 ④福祉と防災で新たな役割を確立 ⑤「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり	①身近な地域の居場所づくり ②単位自治組織と連携した事業体制と新たな人材育成 ③郷土愛を育む学びの場と地域の魅力を発信できる仕組みづくり ④自主防災組織と連携した防災の体制づくり ⑤安心して暮らし続けられるコミュニティづくり	広域コミュニティ組織なし ※単位自治組織の関連項目(再掲) ①広域コミュニティ組織の検討	①住民理解の促進と単位自治組織への支援 ②人材の確保に向けた検討 ③希薄化した連帯感の再構築 ④安全安心な地域づくりのための組織づくり	広域コミュニティ組織なし ※単位自治組織の関連項目(再掲) ⑥広域コミュニティ組織の検討
	【第二期計画における重点課題と取組例】 ● 地域ビジョン策定など地域課題解決に向けた取組強化 (地域の課題や価値を共有するワークショップの実施、有償ボランティアなど課題解決に取り組むための事業の検討) ● 持続可能な組織づくり (各種団体等との連携強化、事業の棚卸し、事業内容の見直し、SNSの活用など地域住民を惹きつける情報発信と事業企画・運営、地域資源を活かしたコミュニティビジネスの導入) ● 単位自治組織との連携 (単位自治組織と広域コミュニティ組織の連携・役割分担・機能補完、単位自治組織が行う諸事業へのサポート)					
市のコミュニティ施策	① 住民主体による地域課題解決を多面的に支援 (地域まちづくり未来事業やアドバイザー職員制度等により、地域ビジョン策定や地域の主体的な活動を支援。SNSの活用など新しい生活様式の導入) ② コミュニティ意識の醸成と担い手の育成促進 (子育て中の方や現役世代などだれでも参加しやすい地域活動を推進し、活躍の場の拡大を図る。ファシリテーションスキル等を向上できる研修会の開催) ③ 広域コミュニティ機能の強化 (先進事例の情報提供など地域運営組織の運営強化に向けた支援) ④ 小規模な単位自治組織への支援 (世帯数を配慮した交付金等算定。活動拠点の整備補助) ⑤ 安全・安心な暮らしの確保に向けた地域体制づくり (防災・福祉・まちづくりなど関係団体等と連携・協力して、多様化する課題解決を図る) ⑥ 生涯学習活動を通じた地域づくりの推進 (生涯学習推進員を配置し、市民の多様な学習・交流活動を支援) ⑦ 住民自治組織と行政の連携強化 (アドバイザー職員・コミュニティ支援員・集落支援員の配置、行政からの依頼事項の洗い出しや会議開催の見直し、手続きの簡素化等)					

目指す5年後の方向性 (計画の推進/連携イメージ図)

地域特性を活かした住民主体による持続可能な地域づくりを進め、住民の安全・安心な暮らしを確保するとともに、さらに心豊かな暮らしを築く



※このイメージ図は、地域コミュニティの中核を担う住民自治組織と、地域の各種関係団体や企業、個人等が連携・協力しながら、また、市は各種支援と情報提供等により支えながら、地域が一体となって地域課題の解決等の地域づくりに取組み、目指す5年後の姿に向かうことを表したものです。
※計画の推進にあたっては、取組の点検、評価を行い、成果・課題を整理しながら、進行管理を行います。

計画の策定方法

a. 実施時期 b. 対象

①アンケート調査の実施

住民主体によるまちづくり活動の現状を評価・検証するとともに、今後のまちづくりのあり方や方向性を探りました。

- a. 令和2年5月28日～6月15日
- b. 広域コミュニティ組織の長 33人、単位自治組織の長(町内会長・住民会長) 463人、広域コミュニティ組織と単位自治組織の次代の担い手 496人

②意見交換会の実施

広域コミュニティや単位自治組織の役員等を対象にヒアリング等を実施し、地域の目標や新たな課題を情報収集しました。

鶴岡地域

- a. 令和2年9月29日 b. 鶴岡市町内会連合会(三役)、7人
- a. 令和2年9月25日 b. 鶴岡市コミュニティ組織協議会(市街地広域組織会長・事務局長)、12人
- a. 令和2年9月29日 b. 鶴岡市自治振興会連絡協議会(郊外地広域組織会長・事務局長)、30人
- a. 令和2年10月2日 b. 単位自治組織女性会長、4人

藤島地域

- a. 令和2年11月11日 b. 町内会長会役員会(町内会長会役員)、10人
- a. 令和2年11月20日 b. 町内会長会(町内会長)、52人
- a. 令和2年10月13日 b. 地域振興懇談会、8人

羽黒地域

- a. 令和2年8月25日 b. 自治振興会連絡協議会(事務局長)、4人
- a. 令和2年11月17日 b. 自治振興会オンライン会議(事務局長)4人
- a. 令和2年8月31日 b. 鶴岡市青少年育成市民会議羽黒地区会議育成部会(育成部員)、12人
- a. 令和2年9月25日 b. 生涯学習推進員連絡会(生涯学習推進員)、19人
- a. 令和2年9月30日 b. 地域振興懇談会(委員)、15人

榊引地域

- a. 令和2年7月22日 b. 榊引区長会情報交換研修会(区長)、20人
- a. 令和2年9月30日 b. 榊引地域振興懇談会(委員)、13人
- a. 令和2年12月4日 b. 榊引区長会全体会(区長)、21人

朝日地域

- a. 令和2年10月27日 b. 地域振興懇談会(委員)、10人
- a. 令和2年11月10日 b. 自治振興会・連絡協議会(コミセン役員、生涯学習推進員、職員)、27人
- ※アンケート調査報告に対する意見・提案のお願い
- a. 令和2年10月19日提出期限 b. 朝日地域自治会長38人、生涯学習推進員16人、自治振興会・連絡協議会3コミセン

温海地域

- a. 令和2年10月7日 b. 温海地域自治会長会役員会、8人
- a. 令和2年11月4日 b. 温海地域振興懇談会(委員)、11人

③鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会の開催

計画の策定にあたり、住民自治組織の代表者や関係団体、学識経験者等からなる「鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会」を開催し、計画の内容について協議しました。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 令和元年度第1回委員会 | 令和2年1月30日 |
| 令和2年度第1回委員会 | 令和2年8月7日 |
| 第2回委員会 | 令和3年1月14日(書面開催) |
| 第3回委員会 | 令和3年2月28日(書面開催) |
| 第4回委員会 | 令和3年3月19日 |

④市民意見の反映

アンケート調査、意見交換会のほか、パブリックコメントを実施(令和3年3月10日～23日)しました。